

アルミケーブル / アルミブランチケーブル

▶ 概 要

アルミ導体による軽量化、及び工場での分岐（ブランチ）加工により現場作業を省力化

■ アルミケーブル

▶ 特 長

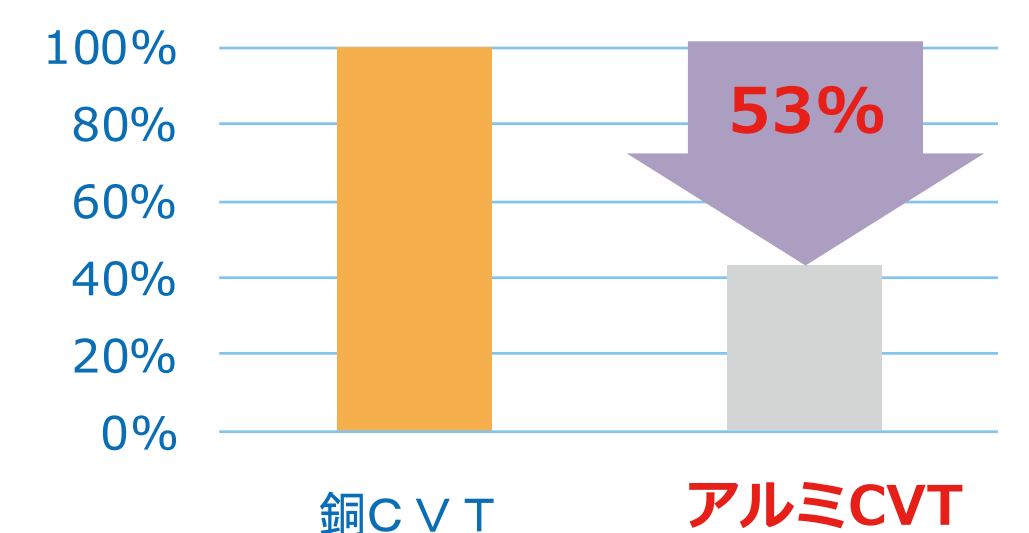


同じ電流容量で 600V の銅ケーブルとアルミケーブルを比較（空中暗渠 at40℃）

銅CVT				アルミCVT			
公称 断面積 mm ²	外径 mm	概算質量 kg/km	許容電流 A	公称 断面積 mm ²	外径 mm	概算質量 kg/km	許容電流 A
38	28	1370	155	60	33	925	160
60	33	2070	210	100	41	1460	225
100	41	3360	290	150	47	1970	295
150	47	4830	380	200	55	2660	365
200	55	6470	465	250	60	3230	420
				325	66	4030	500

■ 銅ケーブル比で大幅な軽量化を実現

銅導体CVTケーブルに対し、同一サイズで50%以上の軽量化。
同等電流容量となる1サイズアップでも約30%の軽量化。
ケーブルの輸送搬入、引き込み作業等で省力化に貢献。



■ 軽量化による配線施工効率アップ

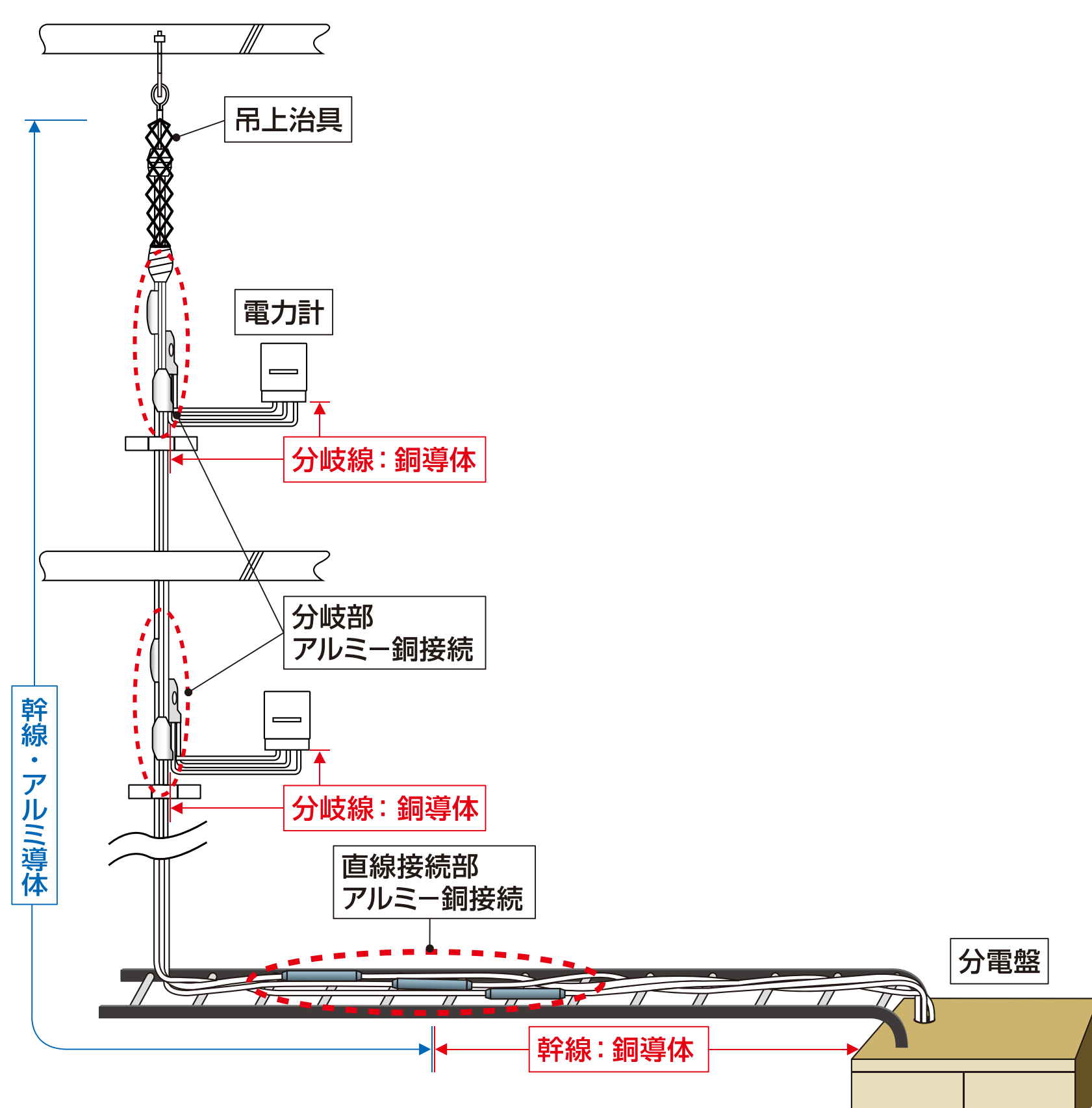
ドラムの移動、切り返し、ケーブル引き出し作業等では
ケーブルの軽量化が現場施工の効率化向上



*某社工場食堂新築工事での
アルミケーブル布設状況

■ アルミブランチケーブル

▶ 配 線 例



▶ 特 長

◆ 幹線アルミケーブルで軽量化

- ・幹線にアルミCVTを採用することで軽量化を実現

◆ 工場でのブランチ化で配線作業性、信頼性向上

- ・分岐（ブランチ）加工を工場で行うことで現場作業の省力化。
- ・分岐線導体に銅、幹線端末部の銅変換により電力計・分電盤へのつなぎ込みが容易。
- ・アルミ幹線と銅分岐線の異種金属の接続も工場加工で安心。